

平成29年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 行計対象

事務事業名 (中事業)	27357 日本のへそコンベンション支援事業				
基本政策	02 産業が元気！活力とにぎわいあふれるまち				
政策	01 活力と活気を生み出す商工業				
施策	01 商業活動の活性化支援				
実施形態	補助・負担金				
事業期間	単年度	平成28年度～			
要求区分	新規	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名 条項					
予算科目	01-070102-020400				
部名	26 産業活力再生部	課名	02 商工観光課		
課長名	戸田 雅人	T E L	0795-22-3111	内線	327

2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>市内の施設を利用して開催されるコンベンション・合宿等を支援するため、開催経費の一部を助成する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市内民間施設での宿泊＋市内有料施設でのコンベンション等の開催 ・市外の団体等が主催する者 ・宿泊人員が15人以上、延べ宿泊人員が30人以上（学生は宿泊10人以上・延べ宿泊20人以上） ・助成率 1泊：1,000円／人（学生：2,000円／人）＋施設使用料の2分の1 ・上限額 宿泊・施設使用料 各5万円（計10万円）
事業の対象 (誰・何を)	市内でコンベンション等を開催しようとする者
事業の目的 (どういう状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の拡大による集客交流産業の活性化 ・波及効果による地域経済の振興
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	対象者への補助金の交付

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成26年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	-
平成27年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	-
平成28年度決算額	381	0	0	0	0	0	0	381
平成29年度予算額	500	0	0	0	0	0	0	500

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成28年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成28年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.05	0.00	0.05	390	381	771
事業費の主な用途		補助金			

平成29年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	年間利用件数				単位	件
	説明や数式	事業を利用した件数					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値			5			
	実績値		5				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		771 154.2				
活動 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成果 指標 ①	指標名	宿泊人数(利用人数)				単位	人
	説明や数式	事業を利用して市内に宿泊した人員					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値			200			
	実績値		179				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		771 4.31				
成果 指標 ②	指標名	利用者の市内消費額				単位	千円
	説明や数式	事業を利用して市内で滞在した人が市内で消費した合計額(領収書・アンケートで把握)					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値			5,000			
	実績値		3,676				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		771 0.21				
実績・成果 等の説明	<p>・初年度のため、利用の推測ができず、予算額に対して執行率が38.1%と低かった。</p> <p>・市内での消費額が3,676千円、1人当たり消費額が20,536円となっており、宿泊により、市内での消費拡大に一定の効果があったと考える。</p>						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	事業の総合評価	改善・見直し					
2 次 評 価	説明	事業2年目となる平成29年度の利用実績を踏まえて決定するが、同種の事業(観光誘客促進事業・学生等による地域活動支援事業)もあるため、事業の見直し・統合について検討する。					
	事業の総合評価	改善・見直し					
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	2	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	事業の総合評価	改善・見直し					
2 次 評 価	説明	補助金の交付額381千円に対して、3,676千円の市内消費額が発生しており、市内の消費拡大に一定の効果があったと認められるが、補助要件に該当する人数の宿泊が可能な市内施設は、実質的に限定される。また、補助制度を利用する団体にも偏りが見受けられ、波及効果の及ぶ範囲が限定的であると思われる。アピカ音楽ホールの利用促進も視野に入れた音楽合宿等での活用も検討されたい。観光誘客促進事業や学生等による地域活動支援事業等の同種の事業との統合についても検討されたい。					
	事業の総合評価	改善・見直し					